データ変換に伴うミスを修正する

Ｒａｄ２０５０ＨＰＦｉｌｅｒソフトウエア

Ver.1.00M

２０１６年０９月２３日

HelperTex Office

http://www.geocities.jp/helpertex2

概要

本ソフトウエアは、ｒｉｇａｋｕシステムで古いシステムで測定された極点測定データを
Ｗｉｎｄｏｗｓソフトウエアで処理するためにデータ変換したが、Ｗｉｎｄｏｗｓの極点ソフトウエアで
読み込めない問題を修正するために作成された。

問題点

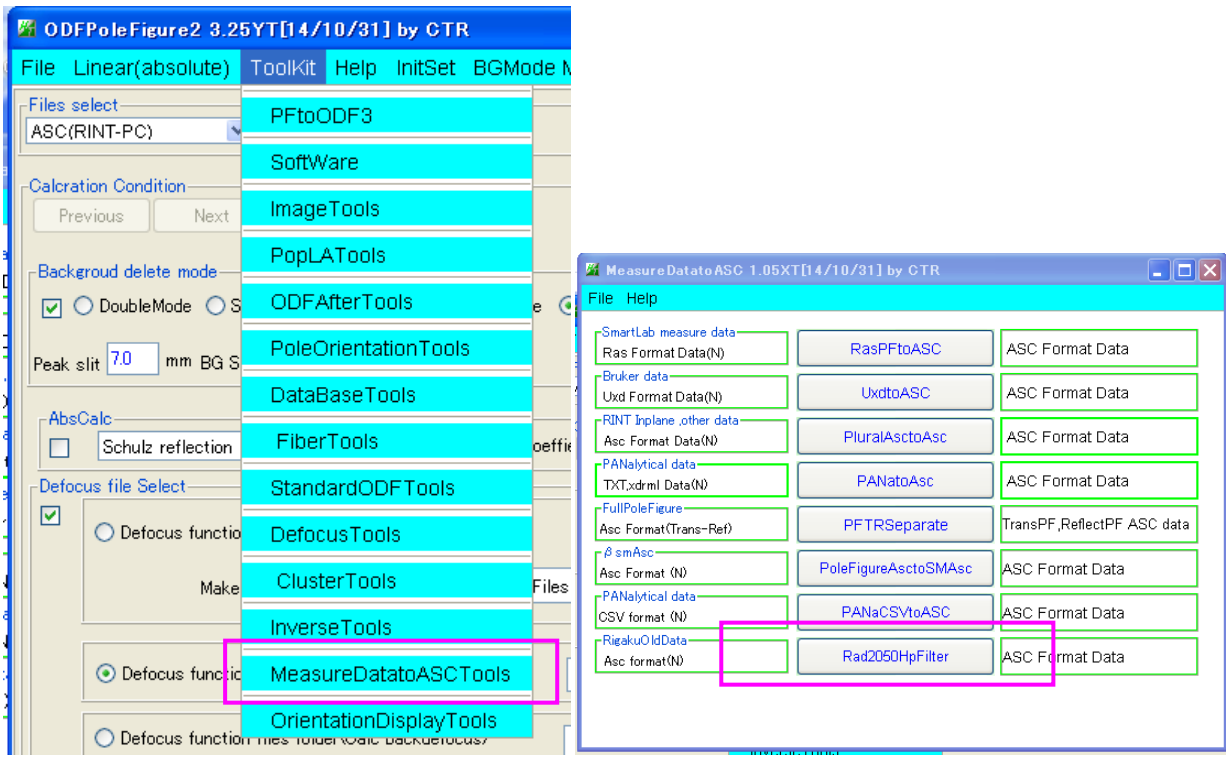
変換されたデータにダブルコーテイションが余分に付加される現象

```
*GROUP_COUNT   = 1↓
"*GONIO         = Wide angle goniometer, 185"
*ATTACHMENT    = Pole figure attachment↓
"*SLIT_NAME     = 0, DS"↓
"*SLIT_NAME     = 1, SS"↓
"*SLIT_NAME     = 2, RS"↓
"*SLIT_NAME     = 3, DS"↓
"*SLIT_NAME     = 4, SS"↓
"*SLIT_NAME     = 5, RS"↓
```

ソフトウエアの起動

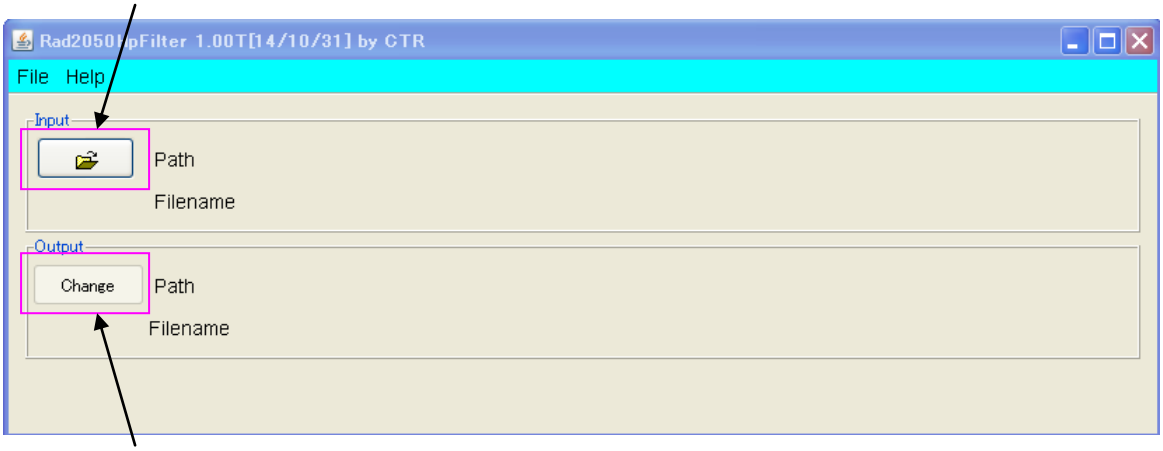
C:¥CTR¥bin¥Rad2050HpFiler.jar ソフトウエアをダブルクリック

C:¥CTR¥bin¥ODFPoleFigure2 →ToolKit →MeasureDatatoAscTools →Rad2050HpFilter



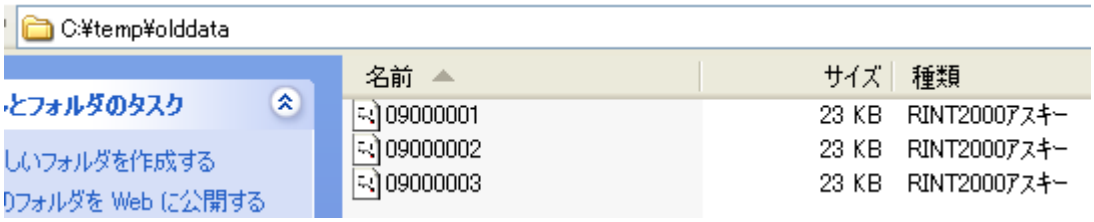
ソフトウエアの使い方

複数の変換データを選択

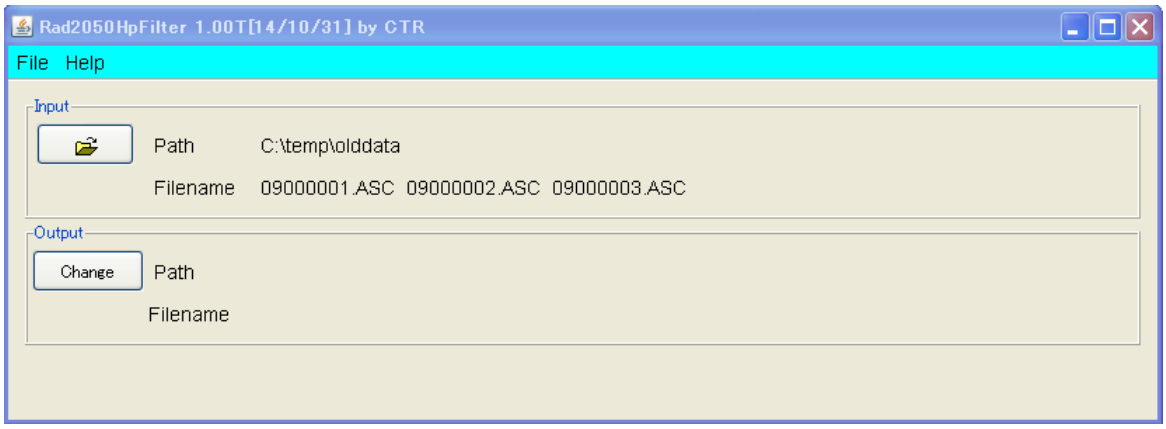


変換開始

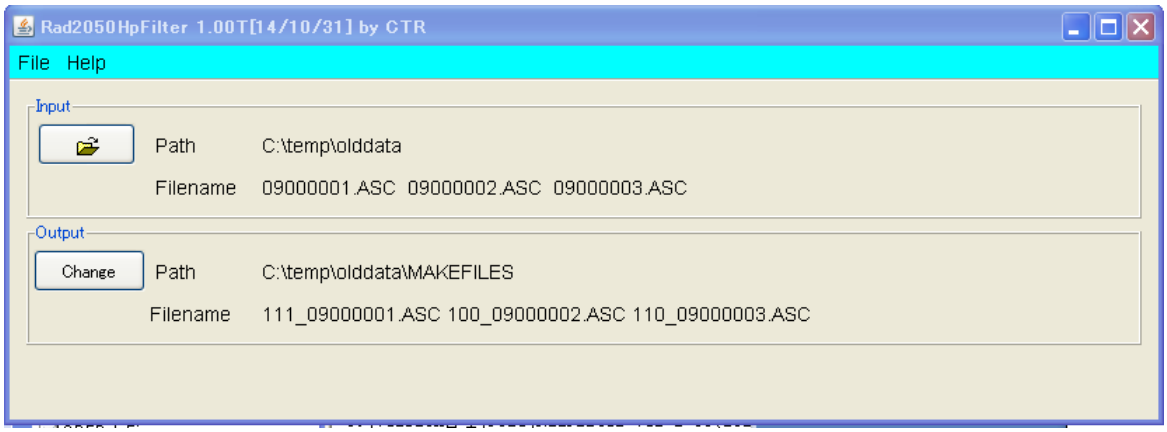
旧データ



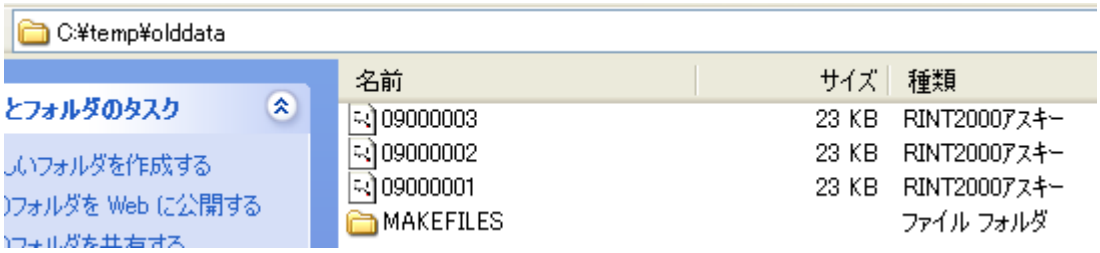
複数のデータを選択



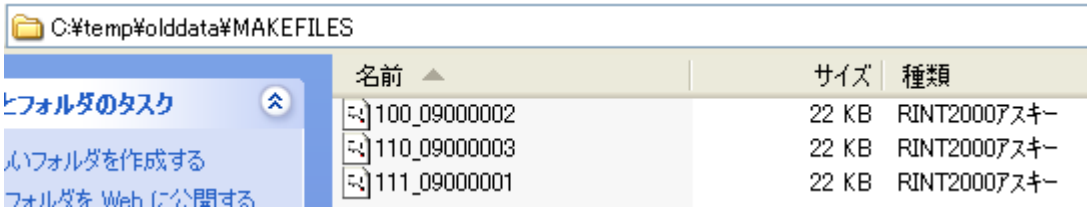
変換開始



変換されたデータ



MAKEFILES ホルダーに変換されたデータが作成される



変換されるデータにＩｎｄｅｘが登録されていれば、ファイル名の先頭に Index を付加

```
*GROUP_COUNT   = 1↓
*GONIO         = Wide angle goniometer, 185↓
*ATTACHMENT    = Pole figure attachment↓
*SLIT_NAME     = 0, DS↓
*SLIT_NAME     = 1, SS↓
*SLIT_NAME     = 2, RS↓
*SLIT_NAME     = 3, DS↓
*SLIT_NAME     = 4, SS↓
*SLIT_NAME     = 5, RS↓
```

ダブルコーテイションが削除されている。

透過反射データが１つのファイルになっている場合

ＰＦＴＲＳｅｐａｒａｔｅソフトウエアで分離を行い

ＯＤＦＰｏｌｅＦｉｇｕｒｅ２ソフトウエアで透過、反射別の処理を行い

ＰＦＣｏｎｎｅｃｔｉｏｎソフトウエアで透過反射データを繋ぎ

ＰＦｔｏＯＤＦ３ソフトウエアでＯＤＦ入力データを作成する